

利他主義、イエス、そして世界の終わり-テンプレート財団がハーバード大学で教授の椅子を購入し、進化、合理性、および文明を攻撃した方法。「地球の社会的征服」のレビュー(The Social Conquest of Earth) by E. O. Wilson (2012) そして「スーパーコラボレーター」(Super Cooperators) by Nowak Highfield (2014) (レビューは2019年に改訂されました)

Michael Starks

抽象

有名な蟻男E.O.ウィルソンは常に私のヒーローの1人でした-優れた生物学者だけでなく、少なくとも他の人が把握できない、または把握している限り、私たちの性質についての真実をほめかすための勇敢なマイノリティの1人です、政治的便宜のために勤勉に避けます。悲しいことに、彼は、ハーバードの同僚たちの宗教的な熱意によって少なくとも部分的に動機付けられた、科学に対する無知で傲慢な攻撃へのパーティーとして、彼の長いキャリアを最も率直なやり方で終えています。これは、大学が宗教団体からお金を受け取ったとき、科学雑誌が大きな評判に驚いて、適切な査読を避けられたとき、そして自我が制御不能になることを許可されたときの卑劣な結果を示しています。それは、進化の本質、科学的方法論の基本、数学と科学の関係、理論の構成要素、そして産業文明の崩壊に容赦なく取り組む際に信仰と寛大さへの態度さえも適切に導く。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、運命の惑星における「話す猿--哲学、心理学、科学、宗教、政治-記事とレビュー2006-2019 第3回(2019)」と21世紀4日(2019年)の自殺ユートピア妄想st Century 4th ed (2019)などを見ることができます。

有名なアントマンE.O.ウィルソンは、常に私の英雄の一人であり、優れた生物学者であるだけでなく、少なくとも他の人が把握できない、または彼らが把握する限り、政治的便宜のために避ける私たちの性質についての真実をあえてほめかす知識人の小さくて消え去る少数派の一人です。悲しいことに、彼はハーバード大学の同僚の宗教的熱意によって少なくとも部分的に動機づけられた科学に対する無知で傲慢な攻撃の当事者として、最も悲惨な方法で彼の長いキャリアを終わらせています。これは、大学が宗教団体からお金を受け入れ、科学雑誌が適切なピアレビューを避けるほどビッグネームに畏敬の念を抱き、エゴが制御不能になれるとき、卑劣な結果を示しています。進化論の性質、科学的方法論の基礎、数学が科学とどのように関係しているか、理論を構成するもの、さらには宗教や寛大さに対する態度が産業文明の崩壊に絶え間なく近づくにつれて適切であることさえあります。

私は彼の特徴であるしばしば堅苦しい散文で、通常の切迫した解説で「征服」のセクションを見つけました(しかし、あなたが彼の他の作品を読んでいて、一般的にbのイロジーにアップしている場合は本当に新しいものや面白いものは何もありません)が、本の核心は彼の包括的なフィットネスの拒絶(50年以上進化生物学の主力でした)です。一つは、彼から来て、彼は自然のような主要なピアレビュージャーナルで自分自身とハーバード数学の同僚Nowakによって出版を指すことを前提と仮定し、それは私がグループの選択が進化に大きな役割を持っているとほぼ普遍的に拒否されたことを知っていたにもかかわらず、それはかなりの進歩でなければなりません。

私はネット上の多数のレビューを読んで、多くは良いコメントを持っていますが、私が最も見たかったのは、有名な科学作家と進化生物学者リチャード・ドーキンスによってでした。大学へのアクセス権を持つ人だけが利用できるジャーナルにあるほとんどの専門家とは異なり、それはネット上で容易に入手可能ですが、明らかに、彼はそれが適切に痛みがあるので、ジャーナルに公開しないことに決めました。

悲しいことに、この本の壊滅的な拒絶と、私がドーキンスから見た科学的な同僚に対する最も無邪気な解説を見つけます。グールドはハーバード大学の同僚ウィルソンに対する個人的な攻撃で悪名高かったが、「征服」の多くはグールドの頻繁な経過を「当たり障りのない、焦点を当てられていないエキュメニカル主義」に不快に思いさせると指摘する。同じことは、彼の最新の著書「人間の存在の意味」を含むすべてのウィルソンの人気のある著作に多かれ少なかれ当てはまります - インクルーシブフィットネス(IF)に関する彼の信用されていないアイデアのもう一つの恥知らずな自己宣伝。

ドーキンスは、ノワク、タルニータ、ウィルソンの悪名高い2010年の論文は、手紙に署名した140人以上の生物学者によってほぼ普遍的に拒絶され、ウィルソンの本にはこれについて一言もないことを指摘しています。また、彼らは記事、講義やいくつかの本の後の4年間でこれを修正しました。「ウィルソンが彼のプロの同僚の大多数に対して自分自身のために話すことを認めないためには、生涯の英雄のこれを行うのは苦痛です- ワントン傲慢な行為」というドーキンのトレンチャントコメントに同意するしかありません。Nowakのその後の行動を考慮すると、彼も含まなければなりません。30年間みんなの子供のベビーシッターをしている隣の素敵な男が連続殺人犯として暴露された後、テレビで見る驚いた人の一人がインタビューを受けているような気がします。

Dawkinsはまた、包括的なフィットネスはネオダーウィニズム(すなわち論理的に追従する)によって伴われ、進化そのものを拒絶することなく拒絶することはできないと指摘する(彼と他の人々が長年行ってきたように)。ウィルソンは、スパンドレル、句読点平衡、進化心理学について無限の超リベラルなマルクス主義者を吐き出すことによって、彼らに慰めを与えながら、彼らの口の片側から創造論者を非難したグルードを再び思い出させます。グループやマルチレベルの選択の数学の曖昧さと数学的不透明度(私たちのほとんどに)は、ソフトマインドが彼らの無限の反科学的な暴言で合理的な思考を逃れ、(アカデミアで)ポストモダニズムの単語サラダを逃れさせたいものです。

さらに悪いことに、ウィルソンの「征服」は、不十分に考えられ、不平等、曖昧なとりとめ、混乱と一貫性に満ちたずさんなほど書かれた混乱です。これらの詳細は、大学院生のジェリー・カーターがネット上で見つけることができる良いレビューです。ウィルソンはまた、進化心理学(EP)の現在の理解と接触していません(例えば、ピンカーの「私たちの自然のより良い天使」の最後の300ページを参照)。社会進化の本の長さの深刻なアカウントと専門家からのいくつかの関連するEPをした場合は、Andrew F.G.の「社会進化の原則」を参照してください。バーク、またはそれほど深刻で明らかに欠陥があり、明らかにとりとめのないアカウントですが、それにもかかわらず、ロバート・トリバーズによって読まなければなりません- '愚か者の愚かさ:人間の生活の中で詐欺と自己欺瞞の論理'と古いが、まだ現代と浸透作品「協力の進化」のような作品: : ロバート・アクセルロッドと'リチャード・アレクサンダーによる道徳的システムの生物学'による改訂版

この本とそのレビューを読んだ後、私はノワクとウィルソンに反応した科学記事のいくつかと、彼らが大きく依存していた価格方程式のヴァン・ヴィーレンの批判に掘り下げました。レビューは、グループまたはマルチレベルの選択の数学が包括的なフィットネス(親族選択)の数学に減少し、俳優とその近親者に固有の遺伝子に利益をもたらさない行動を選択することは論理的に不可能であることは常に明らかであることを指摘した。はっきり言って、「利他的」な行動は、利他主義者の遺伝子の生存を増加させるという意味で、最終的には常に利己的である。これは私にとって日常生活から明らかであり、そうでなければ主張する科学者は明らかに道に迷っています。はい、それは現代生活の奇妙さで起こります(すなわち、私たちが進化した石器時代の社会とは異なり)、人が無関係の人を守るために命を与えるのを見ることがありますが、明らかに、彼らは再びそれを行うものではなく、(複製する前に行われる)傾向も継承されません。たとえ彼らがすでに複製したとしても、彼らは彼らが抑えた場合よりも平均して少ない子孫を残します。これは、集団における遺伝子を減少させる行動である「真利他主義」の遺伝的傾向が選択されることを保証し、自然選択、親族選択、包括的な適性によって進化を把握するためにこの非常に基本的な論理が必要である。

グループセレクションの攻撃の主な焦点は、約40年前にPriceが発表した包括的なフィットネスのモデル化に使用された有名な拡張価格方程式でした。s私が見つけたこれらの攻撃を否定する最良の論文はフランクとバークのものであり、私はフランク'ナチュラルセレクションからのいくつかの引用から始めます。IV. 価格方程式のJ.EVOL.BIOL. 25 (2012)1002-1019.

「批評家は、特定のケースに対する一般的な抽象理論と具体的な動的モデルの明確な役割を混同する。価格方程式の永続的な力は、自然選択における本質的な不変性の発見から生じる。例えば、近親選択理論は、関連係数の点で生物学的問題を表現する。関連性は、社会的パートナー間の関連を測定します。関連度の適切な尺度は、同じ(不変の)進化的結果を持つ明確な生物学的シナリオを特定する。不変性関係は、科学的思考の最も深い洞察を提供します。基本的に、マルチレベル選択とグループ選択に関するすべての近代的な議論は、ハミルトン(1975年)によって開発された価格(1972a)に由来します。価格とハミルトンは、価格方程式は、例えばグループに住んでいる個人など、ネストされた分析レベルを表すために再帰的に拡張できると指摘しました。グループ選択に関するすべての近代的な概念的洞察は、プライスの抽象的な選択表現の再帰的な拡大に由来します。これらの価格方程式アプリケーションの批判は、進化的定量遺伝学の中心的なアプローチの批判です。このような批判は、特定のアプリケーションに有効であるかもしれませんが、定量遺伝学理論のより広い文脈で評価する必要があります。[そして価格からの引用で..「遺伝子の周波数変化は、生物学的進化の基本的な事象です。次の方程式.これは、単一の遺伝子または

任意の数の遺伝子の任意の数の遺伝子の任意の線形機能に対して、任意の種類の優位性またはエピスタシス、性的または無性生殖、ランダムまたは非ランダム交配、二倍体、ハプロイドまたは多プロイド種、さらには2つ以上の性別を持つ架空の種に対して、1つの世代から次の世代への選択の下で周波数変化を与える。...パス(文脈)分析は、回帰によって特定の適合モデルを表す価格方程式の自然な拡張として続きます。価格方程式とパス分析を代替案として議論することは意味がありません。価格方程式の批評は、特定の目標に関連して特定の仮定のコストと利点を区別することはめったにありません。私はファン・ヴィーレンの最近の一連の論文をこれらの批評の代理人として使用しています。そのシリーズは、一般的な誤解のいくつかを繰り返し、いくつかの新しいものを追加します。

ノワクは最近、価格方程式に関する彼の解説の基礎としてファン・ヴィーレンの批判を繰り返した(ファン・ヴィーレン、2005;2010年、ノワクら;ファン・ヴィーレンら、2010;ノワク&ハイフィールド、2011;ファン・ヴィーレン、2011;ファン・ヴィーレンら、2012..ファン・ヴィーレンら(2012)からのこの引用は、奨学金への興味深いアプローチを示しています。彼らはまず、動的な不全が価格方程式の欠点であると述べているとしてフランクを挙げています。その後、彼らはその視点に反対し、彼ら自身の解釈として、彼らが意見の相違の基礎として引用した論文の中で私自身の声明とほぼ同じ概念と言ひ回しの議論を提示します。完全な価格方程式の再帰的な形式は、グループ選択とマルチレベル分析のすべての近代的な研究のための基礎を提供します。価格方程式は、同じ関係を導き出す他の多くの方法がありますが、これらの様々な接続を発見するのに役立ちました。親族選択理論は、さまざまな異なるプロセスを統一するのに十分な不変の情報量を特定することによって、その力の多くを導き出す(Frank, 1998, 第6章)。情報不変性としての親族選択の解釈は完全には開発されておらず、未解決の問題です。不変性は科学的理解の基礎を提供する:「物理学は対称性の研究であると言うのはほんの少し誇張している」(アンダーソン、1972)。不変性と対称性は同じことを意味します(Weyl、1983)。ファイマン(1967)は、不変性は物理法則の性格であることを強調した。一般的に観測される確率のパターンは、不変性の研究と測定との関連によって統一することができます(Frank & Smith,2010,2011)。生物学では、不変性と測定に関する同様の理解を追求する努力はほとんどありませんでした(Frank, 2011;Houleら、2011)。”

私はこの記事のためにやったタイトルを選んだ理由が明らかになってきていると思います。価格方程式と包括的な適合性を攻撃することは、自然選択によって定量的遺伝学と進化を攻撃するだけでなく、科学と合理性の基礎である共分散、分散性、対称性の普遍的に使用される概念、を攻撃することです。さらに、ノワクの明確に声を上げた宗教的動機は、真実(永久に遺伝的に自己減少する)利他主義や人間(女性、子供、犬など)の兄弟関係のようなキリスト教の美德が、近い将来生存のための合理的なプログラムの一部となり得る程度を考えるように私たちを招待します。私の取り組みでは、真の利他主義は進化的な行き止まりを気にしない人にとっては贅沢であり、それが「信じる」包括的なフィットネスバージョンであっても、オオカミがドアにいるときにそれを見つけるのは難しいでしょう(すなわち、次の世紀の110億人の普遍的なシナリオ1)。

この宝石には、絶妙な論理のおよび数学的な詳細(そして同様に彼の多くの他の論文-あなたは1つのpdfでこのシリーズのすべての7を得ることができます)に入る、この宝石にははるかに多くがありますが、これは味を与えるでしょう。もう一つの面白いエピソードは、数学のタウトロジーに関するものです。フランク再び:「ノワク&ハイフィールド(2011)とファンヴィーレンら(2012)は、彼らの議論は、価格方程式が同じ些細な意味で真実であることを示していると信じて、彼らは真実の些細なタイプを数学的なトートロジーと呼びます。興味深いことに、雑誌、オンライン記事、科学文献は、ノワク&ハイフィールド(2011)とファンヴィーレンら(2012)は以前の文献への引用を提供していないが、価格方程式のための数学的なトートロジーという言葉の数年前から使用してきました。私の知る限りでは、数学的なトートロジーとしての価格方程式の最初の記述は、フランク(1995)の研究にあった。

フランク、ラムなどとは異なり、「グループ」は、これらの最近の本や記事でも、過去半世紀にわたるウィルソンの数多くの人気のある本や記事でも、科学の哲学(私はそれを呼び出すのが好きなように、より高い秩序の哲学の記述心理学)の理解を示していないので、私は彼らがウィトゲンシュタイン(数学の最も浸透した哲学者)を研究したとは思わないでしょう。ウィトゲンシュタインは、科学における数学の役割に関するほぼ普遍的な誤解を露呈している。すべての数学(と論理)は、言葉で私たちの生活に結びつくまで意味や使用を持たないトートロジーです。すべての方程式は、数字と言葉と私たちが進化心理学と呼ぶ慣習のシステムが採用されるまでのトートロジーです。驚くべきことにラムは、彼の最近の優れた記事で'価格方程式への穏やかな紹介'(2011)は、これを指摘します:

"価格方程式は、任意の選択プロセスを扱います。実際、それを使って選択を定義できます。それは特に生物学的または遺伝的進化について何も言わないし、特定の生物学的シナリオに結びついていない。これは、巨大な力を与えるが、また、それが現実の世界に誤って適用することは非常に可能であることを意味します。これは、第二と最終的な観察に私たちを導きます。価格方程式は分析的で[定義によりtrueまたは自己自列]。それは合成命題ではない[その真実や虚偽に関する経験的な問題]。我々は、簡単な定義と普遍的な数学的原則に基づいてそれを導き出した。

この方程式は、単純に、私たちが始めた簡単な定義の意味を解釈する便利な方法を提供します。しかし、一度方程式を単語に入れて数学的な関係を解釈すると、これは当てはまりません。単に言う場合:「 λ 」は「選択」を共分散ブラブラと定義すると、安全かもしれません。あなたが言う場合: λ theのクヴァリアック・エ・ブラ・ブラ・ブラーが選択であり、あなたは経験的な内容を持つ主張をしています。より根本的には、確率理論と統計、または他の数学的操作のルールが実際の世界を記述するという信念は合成です。"

この点で、ヘランテラとウラーの「価格方程式と拡張相続」フィロス・シオル・ビオール(2010)2:e101も推奨されています。

"ここでは、最近提案された継承システムの4つのカテゴリの違いについて議論するための出発点として価格方程式を使用します。遺伝的、エピジェネティック、行動、象徴的。具体的には、価格方程式の構成要素が、異なるシステムがどのように概念的に関連しているかを明らかにするために、異なる非遺伝的遺伝系をどのように包含するかを取り上げます。我々は、継承システムの4つのクラスは、選択の不在または存在下におけるある世代から次の世代への表向変化の速度と方向への影響に関して、異なるクラスターを形成していないと結論付ける。代わりに、我々の分析は、異なる継承システムが概念的に非常に類似している特徴を共有することができるが、適応進化への影響は、結合選択と継承能力の違いの結果として大きく異なることを示唆している。"

だから、価格方程式を踏み外すようなものはなく、どんな方程式でも、適切な言葉で世界に接続するだけでは無限のアプリケーションを持っていることは明らかです。

アンディガードナーは、価格に関する彼の記事にそれを置くとして(現在の生物学 18#5 R198)
(また、彼の「適応とインクルーシブフィットネス」現在の生物学23、R577-R584、2013年7月8日参照)

"そのようなアイデアは、価格までかなり混乱していた、と後ハミルトンは、価格方程式が同時に動作する選択の複数のレベルを包含するために拡大することができることを示しました(ボックス 2)。これにより、さまざまなレベルでの選択を明示的に定義および分離することができ、グループ選択理論の正式な基礎を提供します。重要なことに、それはこれらの別々の力の定量化を可能にし、グループ有益な行動がいつ好まれるかの正確な予測をもたらす。これらの予測は常にハミルトンのルール $r_b - c > 0$ と一致していることが判明しました。

さらに、親族選択とグループ選択理論はどちらも同じ価格方程式に基づいているため、2つのアプローチが数学的に正確に同等であり、社会的性格に基づいて動作する総選択を切り開く代替方法であることを示すのは簡単です。取られたアプローチに関係なく、個々の生物は包括的なフィットネスを最大化することが期待されていますが、この結果は親族選択分析からより簡単に従います。"

その結果、価格方程式を攻撃する「グループ」を持つことは奇妙です。そして、ここでは、包括的なフィットネス対「グループニズム」のバークの最近の要約です:(ハプロディプロイドとユーソーシャルは、最良のテストのいくつかを提供する社会的昆虫を参照してください)。

「最近の批判は、社会の進化と社会性、すなわち包括的な適性(親族選択)理論を説明するための主要な理論の妥当性を疑問視している。私は最近と過去の文献を見直して、これらの批評は成功しないと主張します。インクルーシブフィットネス理論は、自然選択理論に基本的な洞察を加えました。これらは、社会的行動のための遺伝子の選択は、共担者への影響、同じ基礎パラメータを使用した利他主義や利己主義としての社会的行動の説明、および非一致包括的なフィットネス最適化の観点からグループ内紛争の説明に依存するという認識です。ユーゾーシャル進化のための提案された代替理論は、労働者の利益が女王の利益に従属し、新しい要素が含まれず、新しい予測を行わないことを誤って仮定します。ハプロディプロイド仮説はまだ厳格にテストされておらず、ディプロイドEU社会における肯定的な関連性は、包括的なフィットネス理論を支持している。この理論は、確認されたユニークで改ざん可能な予測を行っており、その証拠基盤は広範で堅牢です。したがって、包括的なフィットネス理論は、社会進化の主要な理論としての地位を維持するに値する。"

しかし、包括的なフィットネス(特に拡張価格方程式を介して)は、アリ社会よりもはるかに多くを説明し、多細胞生物がどのように生まれたかを説明します。

インクルーシブフィットネス理論の第3の洞察は、社会のメンバー間の対立がグループの子孫と不平等に関連している場合、その潜在的に存在する可能性があるという実証 $nequal\ inclusive\ fitness\ optima$ です。このことから、家族や社会社会内の紛争や、同じ根底にある論理に従うゲノム内紛争など、膨大な範囲の親族が選ばれた紛争を理解してい

ます。この洞察の結果は、社会はメンバーの包括的なフィットネス最適化が一致する程度に安定しているということです。これは、生命の歴史における新しいタイプのグループ(例えば、細胞内のゲノム、多細胞生物およびユーソーシャル社会)の結果として、以前は独立した構成単位が包括的なフィットネス最適化グループ化の偶然を達成した結果として説明することができる進化の全体の「主要な移行」の見解の根拠を提供する fitness optima through grouping。この観点から、多細胞生物は、社会のメンバーが物理的にくっついている細胞のユーソーシャル社会です。しかし、より基本的な接着剤は、(突然変異を禁止する)生物内の各体細胞に、アテテの生産を促進することに共通の関心を与えるクローン関連性である。Nowakらは、彼らの視点は「包括的なフィットネス理論を不要にする」という「遺伝子中心のアプローチ」を前提としていると主張した。彼らの視点から完全に欠けているのは、進化的利益が存在する親族階級に条件付きである自己促進戦略家としての遺伝子の包括的なフィットネス理論の洞察のそれぞれを支えるアイデアであるため、これは不可解です。彼らのユーソシティの進化のモデルでは、利他主義の問題は幻想的であるとノワクは推測した。彼らは、潜在的な労働者(植民地創設の女性や女王の娘)は「独立したエージェントではない」が、むしろ「女王によって構築された「ロボット」または「女王の」個人的なゲノムの「非ソマティック投影」と見なすことができると仮定したので、「説明する必要がある逆説的利他主義はない」と書いた。この主張が正しければ、女王の利益だけに取り組む必要があり、労働者の利他主義は現実よりも明らかであると結論付けることができます。しかし、それは2つの理由から間違っています。一つは、ユーソシティの起源に関する以前の「親の操作」理論に応じて繰り返し議論されてきたように es of the origin of eusociality、労働者と母親の女王の包括的なフィットネスの利益は、二者がグループの子孫に関連する異なる同盟国であるため、一致しないということです。第二に、女王の卵を食べたり、女王の子孫の減少に反応して産卵したり、女王の子孫を破壊したり、女王に対する致命的な攻撃を受けたりする労働者の行動は、労働者が自分の利益のために、そして女王のものに対して行動できることを示しているということです。労働者の受動性のこの証明された欠如に照らして、労働者の生殖自己犠牲は一見逆説的であり、これは包括的なフィットネス理論が解決した利他主義の真の問題です。(c) 独立論 Nowakらの代替理論[38]は、「社会性の起源のための数学的モデル」によって裏付けとなる「ユーソーシャル進化の代替理論」(§2bで述べたとおり)を提示した。しかし、これらは、包括的なフィットネス理論内で行われていないポイントや予測を行わないため、単独でも組み合わせでも真の代替理論を表すものではありません。

Nowakらの提案したスキームの様々なステップについて、パークは言います:

これらのステップは、昆虫のEU社会性の起源と精緻化のための合理的なシナリオを構成しますが、ステップのシーケンスも個々の要素も、包括的なフィットネスフレームワーク内で行われることが提案されているものと大きく異なっていません。また、ノワクらの社会進化の代替理論は、2つの重要な弱点を示している。まず、グループがステップ(i)で複数の方法で形成できるようにすること(例えば、親と子孫の関連付けを通じてだけでなく、「相互の局所的な魅力によるランダム」を含む他の手段によっても、そのシナリオはそれと矛盾しているが包括的なフィットネス理論と一致する2つの重要な点を見逃す。第一に、その証拠は、ほぼすべての社会性の系統において、EU社会性は先づ的にサブ社会的であった社会集団に由来し、したがって、グループ内の関連性が高いことを特徴とする。第二に、労働者の表現型に不可逆的にコミットする成人労働者を含むとして定義される義務または複雑なEU社会性の起源は、先祖の生涯の親の一夫一婦制に関連しており、したがって、再び、グループ内の関連性が予測可能に高いということです。要するに、Nowakらは、ユーソーシャル進化が起こる人口動態の影響を考慮するケースを作る。しかし、彼らの代替理論とその関連モデルは、包括的なフィットネスフレームワーク内で特定されたものの上に根本的に新しい要素を追加し、このフレームワークに関連して、かなりの欠点を示しています。より根本的には、長い間認識され、繰り返し強調されてきたように、ハミルトンの利他主義の支配はハプロディプロイディによって引き起こされる関連性の非対称性が存在することなく保持することができるので、ハプロディプロイディ仮説は包括的なフィットネス理論の不可欠な要素ではない。したがって、包括的なフィットネス理論を批判するハプロディプロイディ仮説の状況を強調することは、ターゲットを逃します。また、ハプロディプロイディ仮説が提案されて以来特定されたすべての二倍二社会社会がクローンまたはファミリーグループであることが判明したという事実を見落とし、包括的なフィットネス理論によって予測されるように、肯定的な関連を示す。これは、アンブロシアカブトムシ、社会的アブラムシ、多胚性スズメバチ、社会的エビおよびモグララットに当てはまります。それは新しく発見されたユーソーシャルフラットワームにも当てはまります。要するに、二度体のユーソーシャル社会は、包括的なフィットネス理論を弱めるところか、それを強化するのに役立ちます。より広い意味では、この理論は、非親族間の利他主義(フィットネスを指示するための生涯コストを含む)の欠如をユニークに予測しており、実際にそのようなケースは、親戚の先祖の社会から明確に派生したシステムを除いて発見されていない。最後に、インクルーシブフィットネス理論は、多細胞性の起源やユーシティの起源、ユーソーシャル社会におけるゲノム内の紛争や紛争など、表面的に異なる現象を含め、解明に成功した社会現象の範囲でユニークです。全体として、社会進化の分野におけるこのような様々な現象にわたる包括的なフィットネス理論の成功した説明と予測の記録に近い理論は他にありません。包括的なフィットネス理論を置き換えることを目的としたアプローチの課題は、理論の洞察や概念を使用せずに同じ現象を説明することです。インクルーシブフィットネス理論の最近の批判は、複数の面で効果がないこと

が判明しています。彼らは、包括的なフィットネス理論で致命的または認識されていない困難を示していません。彼らは明確な置換理論を提供しないか、同様に統一されたアプローチを提供しません。彼らは、以前に原因不明のデータを説明したり、包括的なフィットネス理論からの説明が無効であることを示していません。そして、彼らは新しいユニークな予測をしません。包括的なフィットネス理論の最新かつ最も包括的な批判は、その批判の範囲が広いが、同じ欠点に苦しんでいる。確かに、関連性は社会的特徴のすべてのバリエーションを説明するものではありません。さらに、包括的なフィットネス理論からの長年のメッセージは、非遺伝的(例えば生態学的)と遺伝的要因の特定の組み合わせが、ユーソシティの起源に必要とされるということです。それにもかかわらず、関連性は、関連性がゼロであれば利他主義をもたらすことはできない生態学的利益の量が得られるので、EU社会的進化の分析においてユニークな地位を保持する。"

アンドリュー・F・G・バーク'包括的なフィットネス理論の妥当性と価値' Proc. R. Soc. B 2011 278, doi: 10.1098/rspb.2011.1465 9月 (2011)

グループによってめったに言及されていないのは、「グループ選択」が可能であったとしても、利己主義が利他主義として選ばれるグループである可能性が少なくとも同じくらい高い(おそらくほとんどの文脈ではかに可能性が高い)という事実です。ただ、自然の中で真の利他主義の例を見つけようとする - 私たちができないという事実(進化を理解すれば不可能である)は、人間の中での明らかな存在は現代生活のアーティファクトであり、事実を隠し、自殺の傾向以上に選択することはできないことを教えてください(実際にはそうではありません)。また、グループがんにによって言及されることのない現象(私の経験では)を考慮することでも恩恵を受けるかもしれません。私たち自身の体の遺伝的に同一の細胞(100兆個の細胞クローン)ほど共通点を持つグループはありませんが、私たちは皆、すでに癌への道を歩み、私たちの生活の中で何百億もの癌細胞を生み出している何千もの細胞を持って生まれました。もし私たちが最初に他のもので死ななければ、私たち(そしておそらくすべての多細胞生物)はすべて癌で死ぬでしょう。私たちのゲノムに組み込まれた巨大で非常に複雑なメカニズムだけが、何兆もの細胞の遺伝子を抑圧または抑制し、細胞のビリックライオンを殺して作り出し、私たちの大半を再現するのに十分な長さで生き続けます。これは、あらゆる宇宙のあらゆる惑星上のあらゆる種類の実体に対する正当で民主的で永続的な社会が夢に過ぎず、存在や権力がそれを作ることができないことを暗示するかもしれません。普遍的で避けられないのは物理学の「法則」だけではなく、インクルーシブフィットネスは物理学の法則であると言うべきかもしれません。

奇妙なひねりを加えて、プライス(価格方程式の作成者と敬虔なクリスチャン)を自殺に追いやったのは、明らかにそのような考えでした。「理論」の概念に関しては、それは古典的なヴィトゲンシュタイン語ゲームであり、緩やかにリンクされているが重大な違いがある使用のグループです。

それが最初に提案されたとき、自然選択によるeの意志は確かに非常に理論的であったが、時間が経つにつれて、その基本的な考えはもはやビタミンが人間の栄養において重要な役割を果たすよりも理論的ではなくなったほど多くの観察と実験に密接に関連するようになった。しかし、「神の理論」については、決定的なテストとして何がカウントされるのかは明らかではありません。おそらく、同じことが弦理論にも当てはまります。

多くのグループの他のグループは、多くの人間の相互作用の楽しい性質に注意し、先にバラ色の未来を見えています。しかし、彼らは盲目です。この楽しみは、地球の無慈悲な強姦によって生み出される豊富な資源による一過性の段階であることは明らかであり、今後2世紀ほどで疲れ果てているので、(おそらく)永久的な状態として世界中で悲惨さと野蛮なものがあるでしょう。映画スター、政治家、宗教家だけでなく、もっとよく知るべき非常に明るい学者でさえも気づかない。彼の最近の著書「私たちの自然のより良い天使」では、私の最も賞賛された学者の一人であるスティーブン・ピンカーは、私たちがますます文明化された方法を示す本の半分を費や、していますが、監視と通信技術によって促進される大規模な警察と軍事的プレゼンスと相まって、一時的な豊富な資源が存在する理由は明らかな理由には言及していないようです。産業文明が崩壊する中で、私たちの自然の最悪の悪魔が再び現れることは避けられません。中東、ラテンアメリカ、アフリカの現在の混乱の中でそれを見て、and Africa,世界大戦でさえ、来るものに比べて日曜日のピクニックでした。おそらく、100億人の半分0が生きていて、飢餓、病気、暴力で死んでしまい、もっと多くの可能性があります。終末の簡単な要約については、私の「民主主義による自殺」を参照してください。

利他主義、寛大さ、援助に関するもう一つの不愉快な事実は、事実上言及されていない-、あなたが世界的な長期的な見解を取るならば、消えゆく資源を持つ過密な世界で、一人の人が何らかの小さな方法で他の人を傷つけるのを助けるということです。各食事、靴の各ペアは、汚染と侵食を作成し、リソースを使い切り、あなたが一緒にそれらの7.8億を追加するとき(すぐに1になる1)、一人の人の利益が他の人の損失であることは明らかです。すべてのドルは、世界に損害を与え、各国が将来を気にしている場合、彼らは毎年彼らのGDP(総破壊的な生産)を減らすだろう

。グループ主義が本当だったとしても、これは変わりません。

ウィルソン、ノワクの持っている事実は、4年間、ひどく不十分な仕事のために出版し、贅沢な主張をすることに固執し続けたことは、このスキャンダルの最悪ではありません。ハーバード大学でのノワクの教授職はテンプレトン財団によって購入されたことが判明しました- それは宗教と科学を調和させようとするレクトウレス、会議や出版物の広範なスポンサーシップでよく知られています。ノワクは敬虔なカトリック教徒であり、ハーバードへの大きな贈り物がノワクの任命に偶発的であったようです。これは彼をウィルソンの同僚にし、残りは歴史です。

しかし、ウィルソンは、進化論を理解できなかったために、あまりにも喜んでいました。例えば、親族の選択は、逆ではなくグループ選択の分割として行われました。私は何年も前に、彼がグループ選考の長年の支持者であるデビッド・ウィルソンと共に出版し、彼の理解の欠如を示す他の論文を書いていたことに気づきました。どのグループも、自分のやり方の誤りを学ぶために専門家に行くことができました(または論文を読むだけです)。ハミルトン、ウィリアムズ、トリバーズなどの親族選びの壮大な老人や、フランク、バーク、その他多くの若い血は、彼らを教えて喜んでいました。しかし、ノワクは数年でテンプレトンの助成金で1400万ドルのようなものを受け取りました(数学のために!そして、誰がそれをあきらめたいのですか?イエスの優しさと優しさが私たちとすべての宇宙に組み込まれているということを実証する意図に、彼は非常に率直です。イエスは都合のよいほど存在しないが、他の啓発されたものの資質と初期のキリスト教の本当の物語がショックとして来ることを教会の歴史から推測することができます。聖書は、パーティーラインを満たしていないもの(例えば、グノーシズム -Nag-Hammadiの原稿をチェックしてください)を追放されたことを思い出してください。いずれにせよ、日常生活の厳しい現実を記録するのは誰ですか?

ほぼ確実に、ノワク、タルニータ、ウィルソン紙は、2人の平均的な生物学者によって提示されたならば、(少なくとも自然によって)出版されることはなかったでしょうが、2人の有名なハーバード大学の教授から来て、それは明らかにそれが持つべき仲間のレビューを得ませんでした。

ノワクとハイランドの著書「スーパーコオペレーター」に関して、私はドーキンスに荣誉を与えます:

私はノワクとハイフィールドの本を読んだ。その一部は非常に良いですが、品質は突然、そして恥ずかしいことに、おそらくE O Wilson(社会生物学以来、誤ってグループ選択のサブセットとしてそれを見て、一貫して親族の選択を誤解してきた)の影響下で、親族の選択に関する章で急落します。Nowakは、近親者選択理論の全体のポイントを逃しています、それは追加のものではなく、上記の「古典的な個人選択」理論ではありません。親族の選択はEXTRAではなく、「古典的な個人選択」理論が失敗した場合にのみ頼るものではありません。むしろ、それはネオダーウィニズムの必然的な結果であり、そこから控除的に続きます。ダーウィニアン選択について話すためにMINUS親族の選択は、ユークリッド幾何学からピタゴラスの定理を引いた話のようなものです。ネオ・ダーウィニズムのこの論理的な結果が歴史的に見落とされていただけで、人々はそれが追加的で余分なものであるという誤った印象を与えました。ノワクのそれ以外の良い本は、この要素の失態によって悲劇的に損なわれます。数学者として、彼は本当にもっとよく知っていたはずですが。彼がインクルーシブフィットネスに関するハミルトンの古典的な論文を読んだことがあるか、その考えをこれほど包括的に誤解することはできなかったのか疑わしいようです。親族の選択に関する章は、本の信用を落とし、それを判断する資格を持つ人々によって真剣に取られるのを止めますが、これは残念です。

<http://whyevolutionistrue.wordpress.com/2011/03/16/new-book-shows-that-humans-are-genetically-nice-ergo-jesus/>

著名なゲーム理論学者/経済学者/政治学者(ハーバード大学の卒業生)ハーバート・ギンティス(テンプレトンのスキャンダルを語る)から「スーパーコオペレーター」の痛烈なレビューも登場しましたwww.epjournal.net。 10(1):45-49 と彼の最新のボリュームの私のレビュー '個性と絡み合い' (2017)。

ウィルソンのその後の著書に関しては、「人間の存在の意味」は当たり障りなく、同様に混乱し、不誠実であり、徹底的なデバンキングの4年後にグループパーティーラインを数回繰り返し、「永遠の窓」はモザンビークの国立公園の設立に関するミーグレ旅行ジャーナルです。彼は、アフリカが近い将来に30億を追加することに言及することを慎重に避け(公式の国連予測)、平和、美しさ、品位、正気と希望と共に自然のすべてを排除します。

結局のところ、この悲しい事件全体が道路上で最も小さなバンプに過ぎず、今私たちの注意を払うすべてのものと同様に、中国を支配する7つの社会主義者による拘束されていない母性と世界の征服の恐ろしさがすぐに忘れられることは明らかです and the subjugation of the world by the Seven Sociopaths who rule China will。しかし、地球温暖化がハーバードを海と飢餓の下に置いたとしても、病気や暴力は毎日の規範であり、人間の活動(現在のアメリカ国民の半

分の意見)によるものではなく、人口過剰は問題ではないと主張する人々がいるでしょう(40%の見解)、空からビッグマックの雨のために選ばれた神に祈る数十億人がいるでしょう。